

平成24年度 東北建設部会 活動報告

平成24年9月21日(金)

(公社)日本技術士会 東北地域本部 建設部会

24年度 東北建設部会活動

1. 研修会

- 1) 建設部会ITS研究会の活動
- 2) 東日本大震災の復旧作業とBCP
- 3) もうすぐ一年 ～日本国のパラダイムシフトと土木技術者への期待～

2. 見学会

- 1) 東日本大震災 被災地視察会
- 2) 地下鉄東西線現場見学会

3. その他

- 1) ITS研究会の組織・活動の活性化
- 2) 他部会との協賛研修会

第1回研修会

「建設部会ITS研究会の活動」

- 1)「北海道企業の環境と交通の先進事例報告」
- 2)「中国・黒竜江省の高速道路事情」

講師：1)鹿島建設(株)東北支店 営業部次長 芝山正登氏
・ 2)東日本高速道路(株)東北支社 技術部 課長代理 皆方忠雄氏
日時：平成23年5月17日(火) 参加者：29名

講演内容：

- 1)JR北海道旅客鉄道(株)鉄道事業本部DMV推進センターDMV(Dual Mode Vehicle:道路とレールを自在に行き来できる世界初の新技術車両)について現地視察した内容について講演して頂いた。
- 2)日本の12倍ほどもある広大な黒龍江省で、6箇所の管理事務所を訪ね、高速道路を中心に役1,800kmを走破しながら得た知見をもとに講演頂いた。

第2回研修会

「東日本大震災の復旧作業とBCP」

- 1)「東日本大震災の被災・復旧状況とBCP」
- 2)「東日本大震災における東北新幹線の被害と復旧状況、並びにJR東日本の大規模地震への対応」

講師：1)東日本高速道路(株)東北支社 管理事業部 施設課長 丸茂 等氏
・ 2)東日本旅客鉄道株式会社 東北工事事務所 次長 末弘 保氏
日時：平成23年5月17日(火) 参加者：102名

講演内容

- 1)高速道路設備の被災状況とその復旧状況を報告と、震災8日前に運用開始した仙台道路管制センターの新システムにおいて、過去の震災経験を反映して導入した新機能が機能した状況などを中心に講演頂いた。
- 2)東北新幹線の構造物等の被災状況と復旧方法を報告と、JR東日本の大規模地震への準備状況や今回の大震災への対応状況を講演頂いた。

東北支社管内 災害復旧必要区間

災害復旧対象延長
L=609Km(9路線)
※管内営業延長 1,284Km

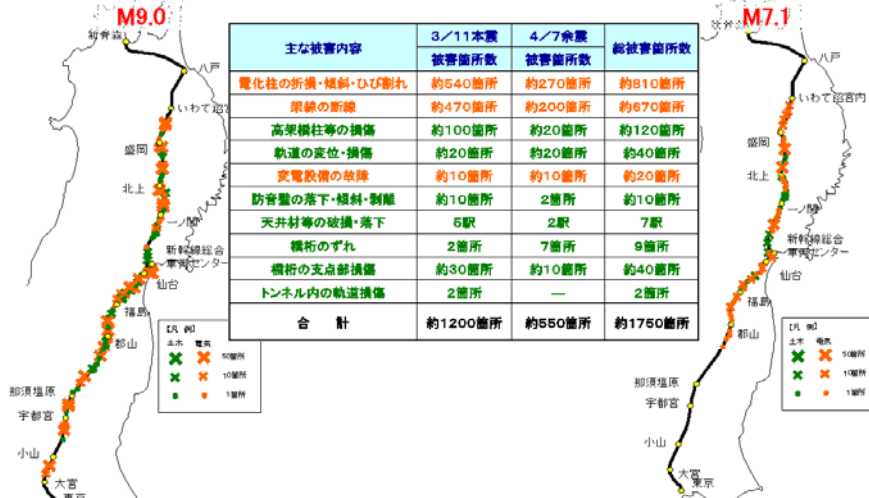


震災災害復旧必要区間

新幹線構造物の被害状況

【3/11本震による被害】

【4/7余震による被害】



本震・余震も含め、構造物は広範囲に渡り損傷を受けた...

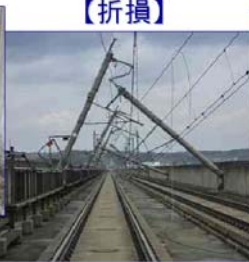


高架橋損傷状況

損傷状況は、さまざまであった……



【柱損傷】



【折損】



【傾斜】



電化柱損傷状況

第3回研修会

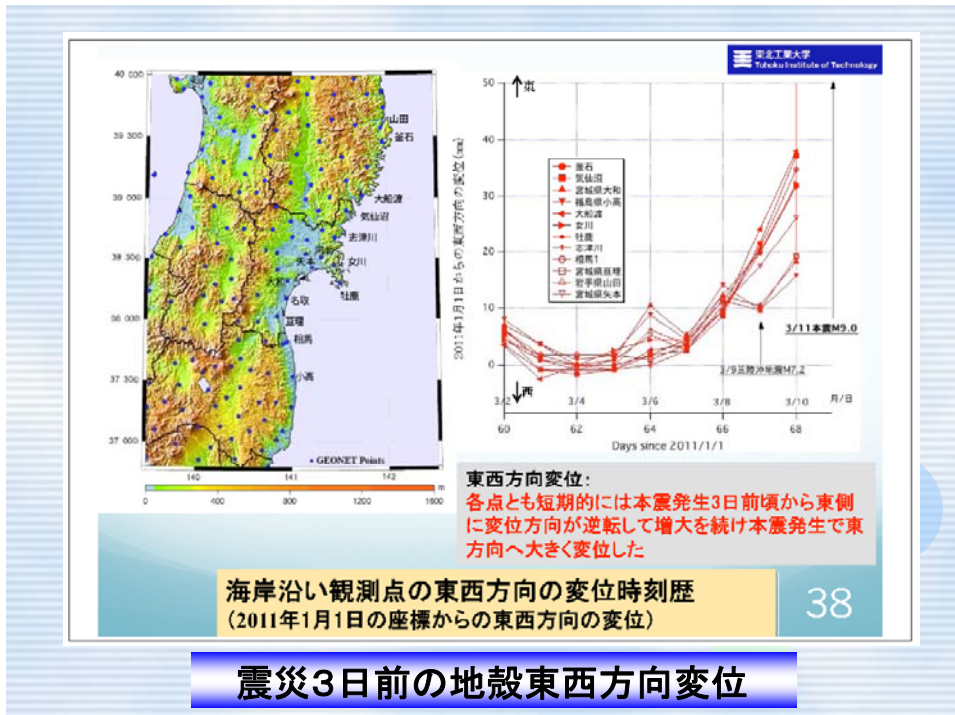
「もうすぐ一年 ～日本国のパラダイムシフトと 土木技術者への期待～」

講師:東北工業大学 名誉教授 神山 眞 教授

日時:平成24年2月28日 参加者:37名

講演内容:

国土地理院が日本全国の1240地点に整備したGPS位置観測点(電子基準点)GEONETの位置情報を解析し、大震災の予兆とも言うべき興味深い現象を紹介した。今回の巨大地震の震源に近い北東北から関東に至る広い範囲にある観測点で、同一傾向へ従前状態と異なる変位が“3日前”頃から現れ、その異常も発展しながら本震に至った経過が明瞭に示され、巨大地震の予兆の把握は一定程度可能であるとの解説がなされた



南三陸被災復旧状況視察会

開催日 : 平成23年10月26日(火)
視察地 : 宮城県 南三陸町、北上川左岸・右岸、
雄勝町、女川町、石巻市

参加者 : 37名

開催趣旨:

土木技術者として被災地の現状と被害の凄まじさを改めて認識すると共に、対象地の復旧の状況を把握するために企画・実施した。



地下鉄見学会

日時:平成24年2月10日(金)
場所: a) 広瀬川橋梁工区 b) 西公園工区
講師:地下鉄東西線建設事務所
笠松副所長(技術士)他各工区担当職員3名
参加者: 25名

見学会内容:

両工区とも構造物工事の最盛期を迎えており、広瀬川に配慮した橋梁の景観デザイン及び仙台市内中心部での地下埋設物防護や都市トンネル工事の困難さ等を改めて実感した見学会となり、技術的に大いに参考となった。

ご清聴ありがとうございました